
「2013～15年度 中期経営計画」の取り組み

～“成長ステージ”の進捗と今後の取り組み～

2015年10月27日

 日立キャピタル株式会社

Contents

1. 2015中計 計画に対する進捗
2. 地域戦略(日本事業)の取り組み
3. 地域戦略(グローバル事業)の取り組み
4. まとめ

持続的成長に向けた“高利益体質”への変革

地域戦略(セグメント)

日本事業 「再成長に向けたビジネスモデル転換」 →マーケットイン、アカウント対応強化による 勝てる分野の見極め		グローバル事業 「規律ある展開による真のグローバル展開加速」 →海外4極による規律ある成長 (リスクマネジメント強化)			
アカウント ソリューション	ベンダー ソリューション	欧州	米州	中国	ASEAN
日立グループビジネス：“One Hitachi”による成長戦略加速					
ビークルソリューション：キャピタルグループの基盤として展開					
アカウントソリューション：マーケットイン、アカウント対応強化					
その他（機能会社、低収益事業）					

共
通
ル
戦
略

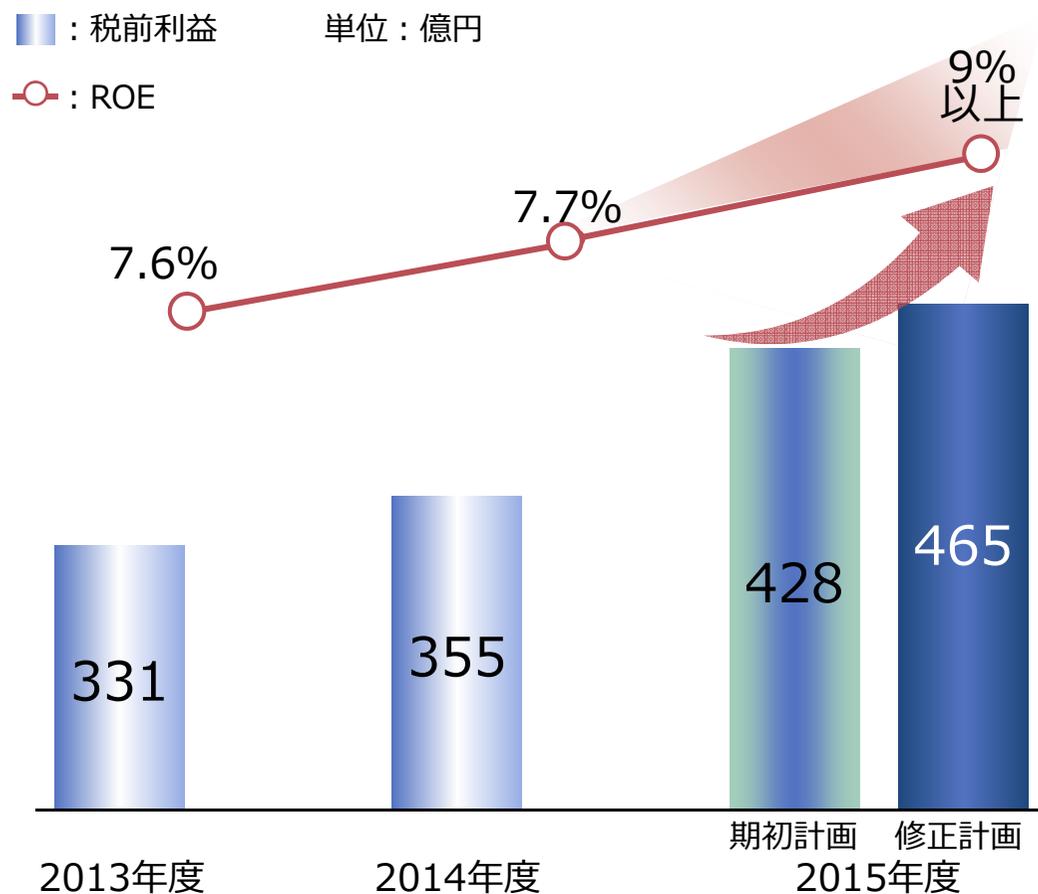
スマトラPJによる“勝てる経営体質”への構造改革牽引

「マーケット変動に左右されない“強い経営体質”実現に向けた継続的な改革推進（競争力強化）」

1-2. 2015中計(計画に対する進捗)

上期は順調に進捗。2015年度計画を上方修正、過去最高更新へ

税前利益・ROEの推移



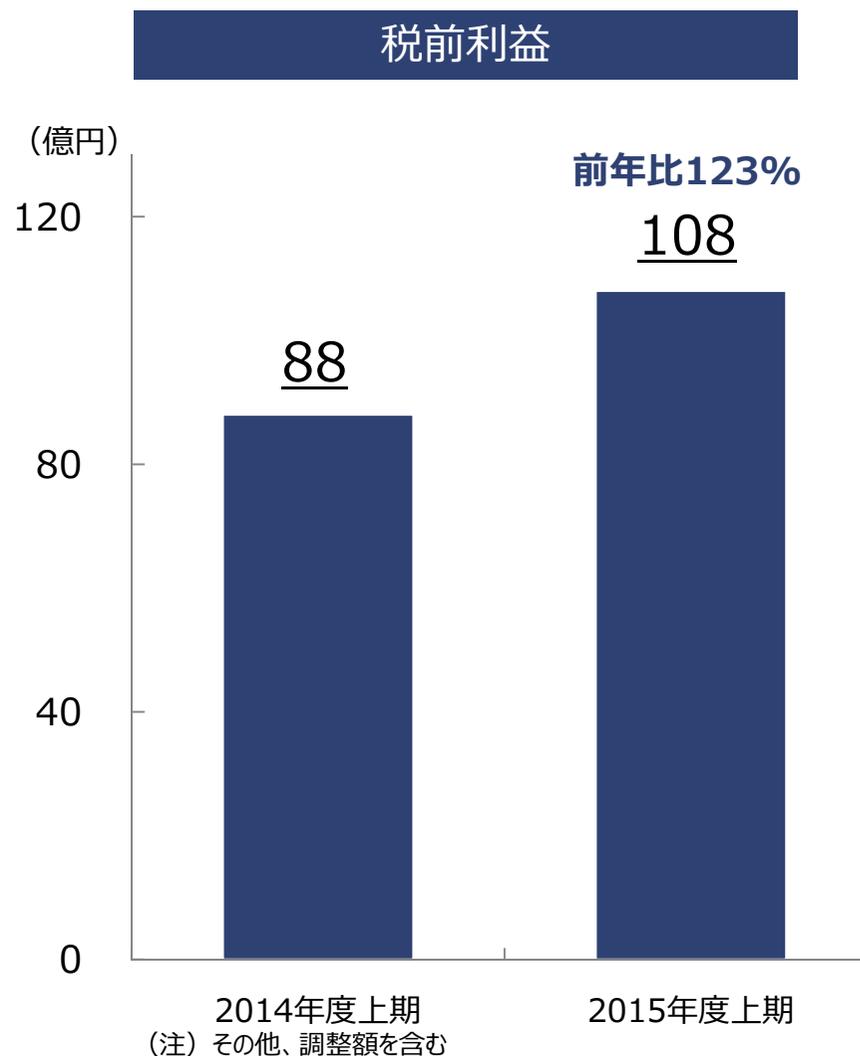
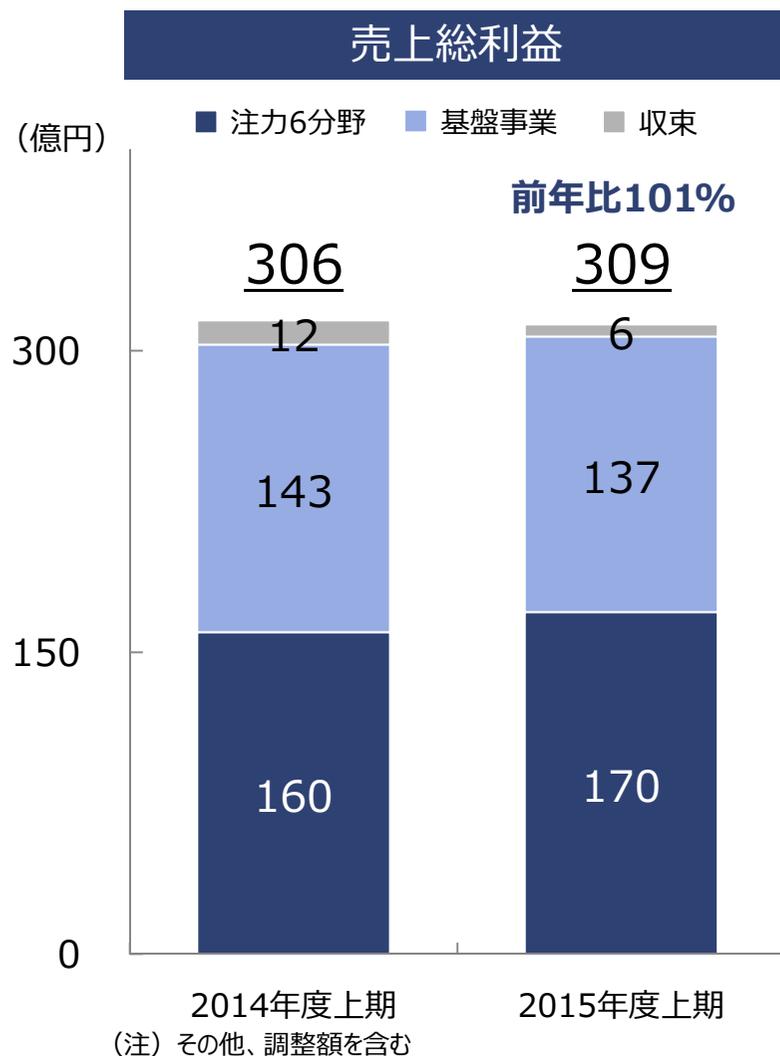
【2015中計の計画と進捗】

項目	13年度 (実績)	14年度 (実績)	15年度 (見通し)
ROE	7.6%	7.7%	<u>8.5%以上</u> ↓ <u>9%以上</u>
税前利益	331億円	355億円	<u>428億円</u> ↓ <u>465億円</u>
OHR※	65.1%	63.1%	<u>63%未満</u>

※OHR(販管費分配率) = 販管費及び一般管理費 (貸倒関連費用を除く) ÷ 売上高総利益

2-1. 地域戦略(日本事業-業績推移)

事業の取捨選択、コスト構造改革により改善基調



2-2. 地域戦略(日本事業-注力6分野)

注力6分野の状況 「社会の課題、社会の変化への対応」

No.	分野	上期実績	仕込	環境・取り組み
1	社会インフラ	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・社会インフラ老朽化対応ニーズへPPP・PFIやサービス事業で対応 ・建物リース(物流施設等)の伸長継続 ・PPP・PFIは分野別アカウントパートナー確立により対応件数増加
2	環境・再生可能エネルギー	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光買取り規制を受け、風力中心に対応 ・洋上風力の事業参画検討開始や、ガス会社等との協業による風力、小水力等も拡大傾向
3	ベンダーファイナンス	△	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンダーの売上が伸び悩むなか、リース各社は低料率で競合 ・大手ベンダー協働サービスモデルの提案による差別化モデルの展開(与信～受注のプロセス省力化、ベンダーの資金回収改善等) ・利益効率改善へ業務プロセス、ITインフラの見直しを実施中
4	オートリース	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーの使用車両単価低下、低価格車両シフト ・車両トータル管理ソリューション提供(メンテ、安全管理、法令対応) ・住友三井オートサービスのノウハウ、インフラの活用によるシグマ追求
5	ヘルスケア	△	○	<ul style="list-style-type: none"> ・介護分野や病院向けBPO事業などの新分野への取組み強化(介護ロボットの販売協力、病院経営や医療効率化サポート) ・中古医療機器の取扱い対応の強化
6	アグリ	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・TPPによる業界環境変化に対応(生産者向けファイナンスからのシフト) ・6次産業化、農産物輸出などの動きへの対応、業務提携の活用 ・農産物輸出、農業団地、水産物、米分野等でサービス事業化推進

キーアカウントへ日立グループのソリューションを提供
～西部ガスグループとの風力発電分野での共同事業展開～

**日立グループとの連携：
発電事業のノウハウを蓄積**

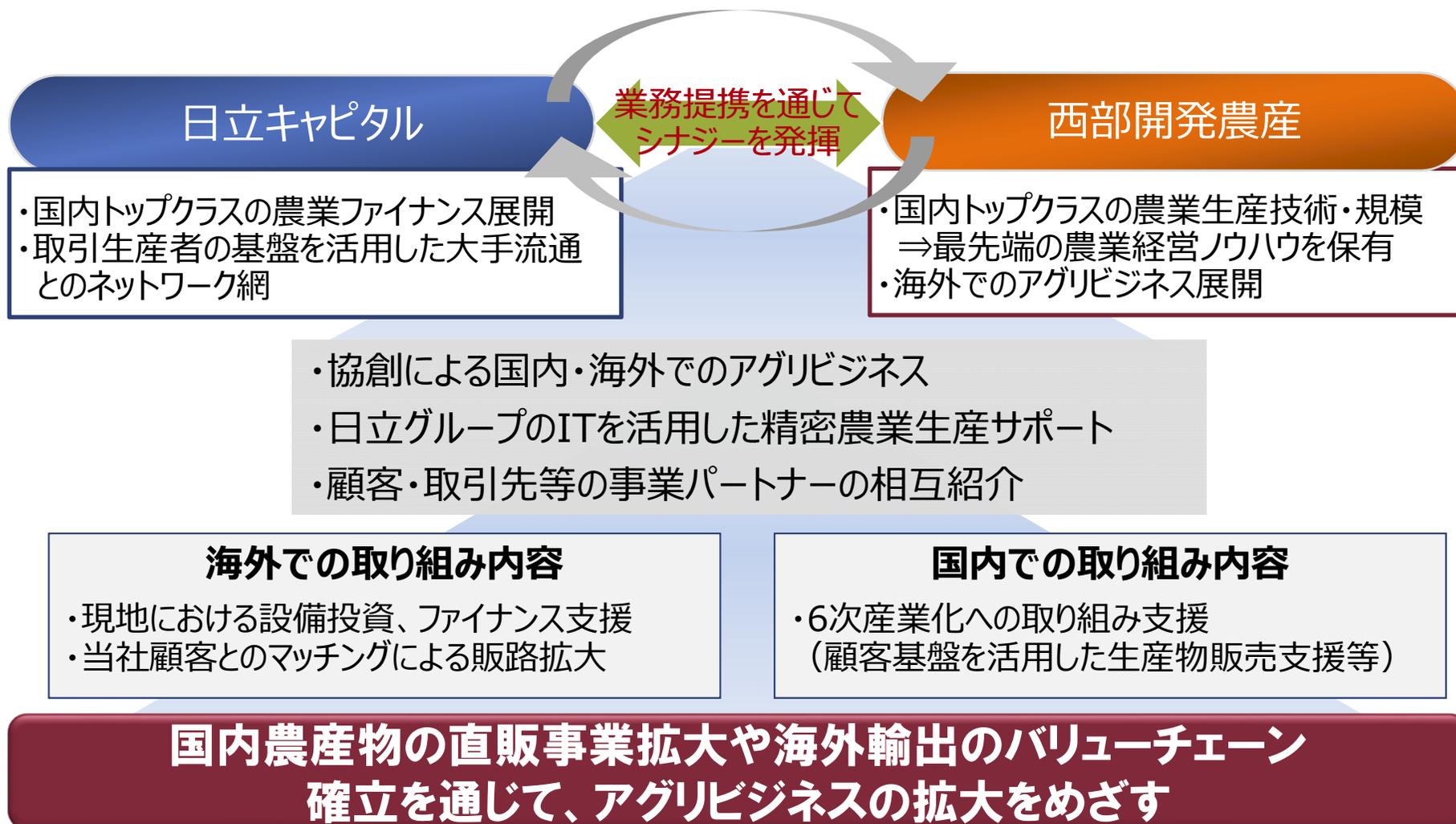
- ・日立グループの高い技術力やメンテナンス体制
- ・当社グループの売電事業ノウハウと、金融や業務支援のソリューション提供



日立グループビジネスを活用した環境・再生可能エネルギー事業の拡大

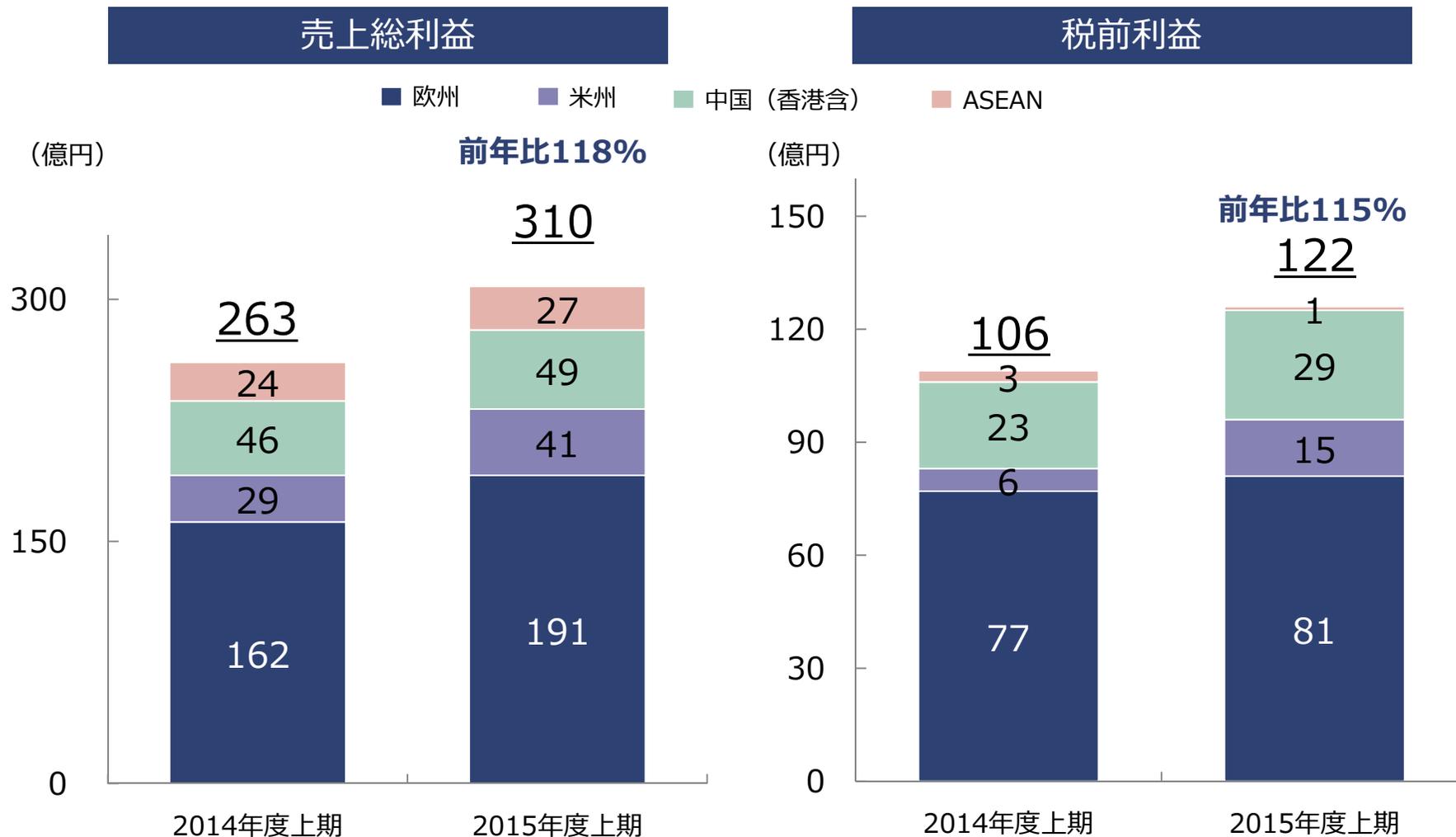
2-4. 地域戦略(日本事業-事例②:アグリ)

国内大手農業法人との協創による新たなアグリビジネスの展開 ～両社の強みを生かした事業拡大～



3-1. 地域戦略(グローバル事業-業績推移)

欧州の安定成長と米州の成長拡大により成長継続



(注) 2015年度上期は為替影響を除いた数値

(注) 2015年度上期は為替影響を除いた数値。その他、調整額を含む

グローバル事業の基盤として安定成長持続

事業環境

- ・英国の景気は、賃金上昇などで基本的に堅調。企業の設備投資意欲も改善傾向
- ・金利は低位推移も今後の利上げ動向を注視
- ・銀行系競合他社はいまだ弱い再参入の動き

主な事業内容

- 【英国、ポーランド】
- ・消費者向け部門
(家具、住宅リフォーム、自動車、貸付等)
 - ・法人向け部門 (農業・企業向けファイナンス等)
 - ・ビークル部門 (自動車関連ソリューションの提供)

売上総利益(棒グラフ)・税前利益(折れ線グラフ)



(注) 2015年度上期は為替影響を除いた数値

上期のトピックス

- ・英国事業が堅調に推移
- ・自動車、個人向けのローン等、新規分野が拡大
- ・日立グループとの事業拡大(建機、鉄道等)
- ・商業車マーケットへの参入(空港等)
- ・ポーランドのビークルソリューション事業へ英国ノウハウ提供
- ・競争力維持、業務効率化に向けたIT技術の改善継続

米国・カナダの事業拡大による成長加速

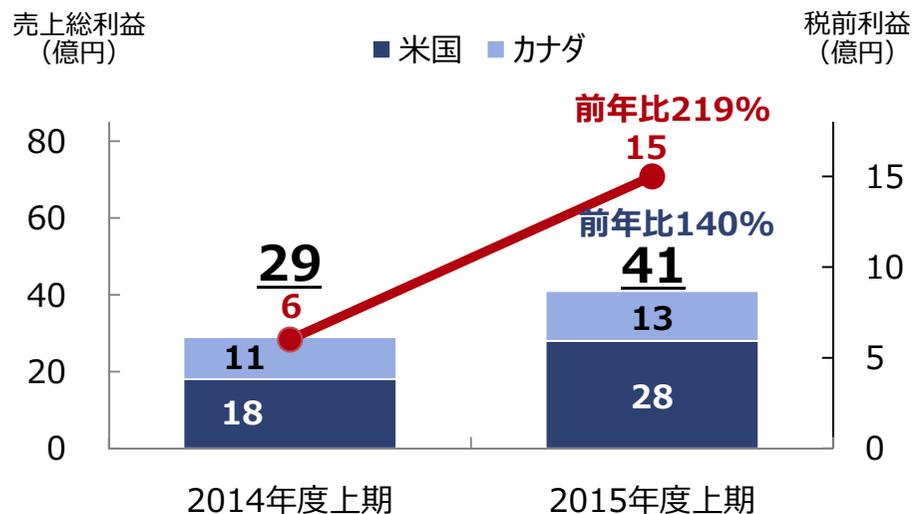
事業環境

- ・個人消費主導による景気回復が継続
- ・リース市場は、リーマンショック前の水準を上回る
- ・金利は低位推移も今後の利上げ動向を注視

主な事業内容

- 【米国、カナダ】
- ・ビジネスファイナンス
(商用トラックファイナンス、トラック在庫金融、医療・情報通信・産業機械等のリース)
 - ・ファクタリング

売上総利益(棒グラフ)・税前利益(折れ線グラフ)



上期のトピックス

- ・成長ドライバーとして順調に拡大
- ・米国・カナダのトラックファイナンス拡大や事業の多様化による成長加速と事業リスク分散
- ・ファクタリングスキームの強化
- ・日立グループとの省エネソリューション事業推進

リスクマネジメントの強化と成長機会の見極め

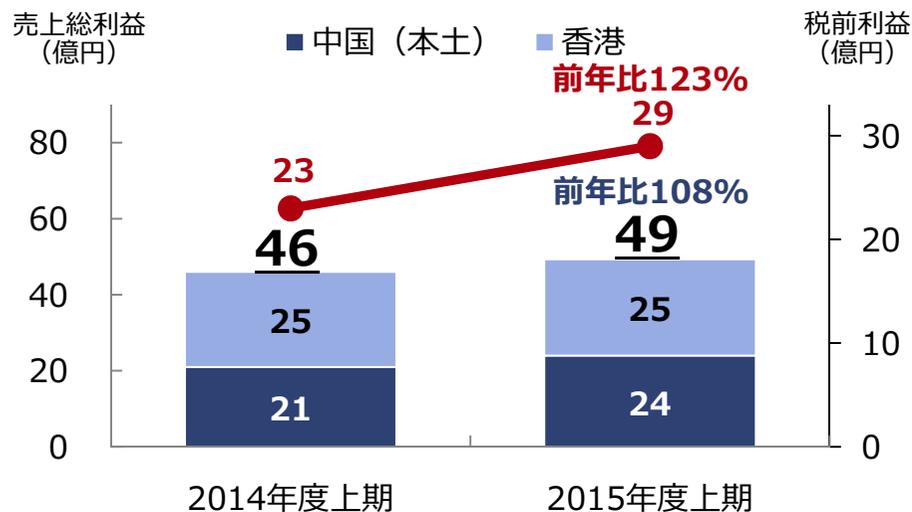
事業環境

- ・経済成長鈍化鮮明
- ・製造業を中心に設備投資抑制、信用リスク上昇
- ・株価急落を含め経済、金融の不透明感、政治面でのリスク（規制変更）が継続
- ・香港は中国本土の経済状況の影響懸念

主な事業内容

- 【中国（本土）】
 - ・リース事業(医療・情報機器、産業・建設機械等)
 - ・ファクタリング
- 【香港】
 - ・企業向けファイナンス(情報・産業機器、商業設備等)
 - ・消費者向けファイナンス（自動車等）

売上総利益(棒グラフ)・税前利益(折れ線グラフ)



(注) 2015年度上期は為替影響を除いた数値

上期のトピックス

- ・中国本土の事業構造転換を推進
(地方政府系医療機関・民間企業向けの減少と公共案件・日立グループ連携の拡大)
- ・中国大手銀行系リース会社との連携
- ・日立グループ連携の強化
(ヘルスケア、物流、ファクタリング等)
- ・香港における消費者向け事業の拡大
(自動車ファイナンスが順調に拡大)

中長期的な成長ドライバーとしての経営基盤強化

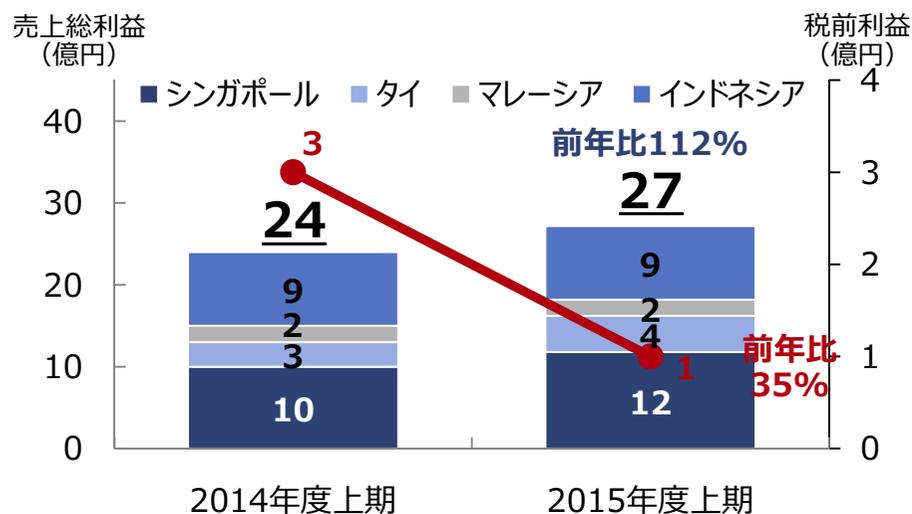
事業環境

- ・足元は景気減退、規制変更、政情不安など事業環境は逆風
- ・但し、中長期での成長期待地域としての位置付けは変わらず

主な事業内容

- ・企業向けファイナンス
(情報機器、産業機械、商業設備、医療機器、ファクタリング)
- ・ビークル部門
(オートリース、トラック・乗用車ファイナンス等)

売上総利益(棒グラフ)・税前利益(折れ線グラフ)



(注) 2015年度上期は為替影響を除いた数値

上期のトピックス

- ・シンガポールの地域統括社を中心とした中長期的な成長ドライバーとしての足場固め
- ・ASEANにおける日系企業向け金融サービス拡大
- ・タイでの日立グループ向けファクタリング拡大
- ・マレーシアにおける事業拡大を加速
(社名変更、クアラルンプール支店開設)
- ・インドネシアでの法人向けファイナンスの拡大

4. まとめ(成長ステージの目標)

持続的成長に向けた“高利益体質”への変革

	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度 (目標)
ROE	7.6%	7.7%	9%以上
税引利益	331億円	355億円	465億円
OHR	65.1%	63.1%	63%未満
配当性向/1株配当金	26% 48円	29% 60円	30% 84円
高格付け維持 (健全な財務体質)	・S&P : A- ・JCR : AA- ・R&I : A+		

地球環境への配慮など社会の要請を
グローバルな視点でとらえ、
お客様と地域・社会に信頼される
金融サービスを提供いたします。

(1) 「基本」と「正道」

(2) 「自立」と「調和」

(3) 「品質」と「発展」

日立キャピタル

<http://www.hitachi-capital.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご認識いただき、資料をご活用ください。